

キャブチャヤ一画(No.19) 駁名旅行
1959 (昭和34) 年8月・自宅(三重県)・8分38秒・モノクロ
提灯者が前年に亡くなった長女を連れて、実家の墓へ初めて参省する様子。特筆すべきは、奥西線に乗り換えて乗客の写真を撮る。翌日は夫(撮影者)とロープウェイ(当時は東洋一の高さ)で箱根所岳へ。その後、提灯者の伯父の木匠店へ。木匠置場。



かぶうずら、やまいもうなぎ アカカブの会の記録2025 no.2

参加者の記憶を媒介とした対面での「言葉の交流」を目的とする、せたがやアカバの会。2022年度からは《ハガキ方式》での遠隔実施と対面実施を併用するハイブリッド開催です。今回、ご覧いただいた映像は『桑名旅行』（No.19、昭和34年8月撮影）でした。さて、どのような声が集まってきたのでしょうか。じっくりお楽しみください。

POST-MOVIE

あ) まだ生まれていない

い) 映像が編集されている。写真とアルバムに貼りのて
同じような 感覚だったんだろか。

娘の仕草が和やかなカットでひたすら繰り返される。
愛情に溢れている。

5) 23, 東京都渋谷区



世田谷7口ニ7ル
Setagaya Chronicle 1936-83

Setagaya Chronicle 1936-81

穴アーカイブ an-archiv
記録を壊すという営み。記録が壊れないこと、すなわち、記録の不在(穴)から捉え直す反(an)アーカイブ的アーカイブという映像メディアに着眼し、世田谷のまち、ひと、くらしに光をあてる。2015年から始動。



せたがやアカカブの会：The setagaya akakabu circle
穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観ながら観る合う小さな鑑賞の場。ほぼ隔月で開催。開催予定、上映内容等は、生活工房HPまたは＜お問い合わせ＞からご確認下さい。一見さん大歓迎。本誌くさぶうずら、やまいもוגき>は、当会の断片的・公式活動記録。

